

被爆 75 周年原水爆禁止世界大会

広島大会「議長挨拶」

早いもので、あの日から 75 年。地獄と化した広島・・・あの日から・・・75 年・・・。

あの日を生き延びた、数少ない人たちの平均年齢は今や 83 歳。

5 歳の時、長崎で被爆した私も 80 歳になりました。

今年は、5 年に一度の N P T 再検討会議の年、世界各国の人々が核兵器の早期廃絶と核兵器禁止条約との調整を求め、ニューヨークの国連本部で議論するはずでしたが、コロナの影響で、来年に延期されることになりました。原水禁広島大会も規模を縮小し、私のご挨拶も画面を通し、お話しさせて頂くことをお許しく下さい。

最新の世界の核兵器の数は、9 ヶ国で 1 万 3, 4 1 0 発、昨年から 4 7 0 発減りました。しかし、中国は 3 0 発増の 3 2 0 発、フランスを抜き、ロシア、米国に続き 3 番目に多い国となりました。

確かに、総数としては若干減ったとはいえ、地球上の人類を何回殺しても有り余る数字には変わりありません。しかも、近年の米・ロの緊迫した状況を見ると、核の脅威は格段に増し、極めて危険な状況と言わざるを得ません。世界の終末時計は刻々と人類の終焉を刻んでいます。

しかも、米国トランプ大統領は「中距離核戦力全廃条約（I N F）」を失効させ、さらに核体勢の見直し・・・使える核兵器の開発を表明するなど、極めて危険な状態と言わざるを得ません。また、米ロの核削減交渉も全く見通しがたっていません。

このような時だからこそ、「世界で唯一の核被害国」我国の出番があるはずです。

まず、核兵器禁止条約に賛同する。そして、「北東アジア非核兵器地帯構想」を推し進める。

北朝鮮、韓国、我が国は核を持たない、米国、ロシア、中国は核攻撃を

しない。そうです、スリー・プラス・スリーを実現させるのです。そして、この構想を南半球と同じように北半球にも広げるのです。もうアメリカの核の傘はいらないのです。

世界で唯一の戦争被爆国である我国こそが、世界の核廃絶のリーダーになるのです。

皆さん、希望を失ってはいけません。

75年前のあの日を思い出してください。あの荒涼とした原子野を、夥しい屍の横たわる原子野を。

みなさんたちのご両親たちが今日の広島を作り上げてきたではありませんか。

広島の人達がお金を出し合い、新しい広島を作ったではありませんか。

そして、「ノーモア・広島、ノーモア・長崎、ノーモア・ワースト」を叫び、私たちは75年間、平和憲法を守り続けてきたではありませんか。私たちは75年間、核兵器をただの一度も、使用させてこなかったではありませんか！

安倍政権の末期的症状が出てきました。もり、かけ、桜、黒川検事長、そして、この広島での前法相の河井夫妻の逮捕事件。

これで我が国は、民主国家と言えるのですか！！

政治の流れを変えましょう。平和憲法を守り、真の平和を取り戻しましょう。そして、核も戦争もない世界を作りましょう。

みんなの力で頑張りましょう。